

1. 摂政 2. 太政大臣 3. 関白 4. 執権

1. 藤原氏 2. 北条氏 3. 蘇我氏 4. 足利氏

1. 最澄と空海は、遣唐使が停止された後に日本独自の国風文化を背景として、平仮名を用いた布教を行った。
2. 最澄は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広め、空海は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めた。
3. 最澄は阿闍陀仏にすがる浄土宗を、空海は座禅を重視する禅宗を、それぞれ平安京の市中で広めた。
4. 最澄は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広め、空海は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた。

1. 朱印状を発行して東南アジア諸国との貿易を奨励した。 2. 堺や博多の商人に特権を与え、座を廃止して自由に取引を認めた。 3. 勘合を用いて明との貿易を行い、倭寇の取り締まりを強化した。 4. 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。

1. 東大寺南大門 — 淨土教 2. 平等院鳳凰堂 — 淨土教 3. 平等院鳳凰堂 — 禪宗 4. 中尊寺金色堂 — 淨土教

1. 貴族が住んだ寝殿造は、池のある庭園に面した開放的な邸宅であった。
2. 武士が住んだ書院造は、畳を敷き詰め床の間を設けた邸宅であった。
3. 町人が中心となって、通りに面した間口が狭く奥行きが深い町屋が普及した。
4. 農民の住居として、防寒を重視した竪穴住居が依然として主流であった。

1. 聖徳太子が摂政となり、冠位十二階や十七条の憲法を制定して、天皇を中心とした国づくりを目指した。
2. 藤原氏が摂政や関白の職を独占し、天皇を補佐する形式をとりながら、実質的な政治の決定権を掌握した。
3. 白河上皇が退位した後に、天皇に代わって政治を行う仕組みを整え、藤原氏の勢力を抑えようとした。
4. 平氏が太政大臣の職に就き、一族で高い役職を占めることで、武家として初めて政治の実権を握った。

1. 空海が建立した金剛峯寺などの仏教勢力が政治に介入したため、上皇はこれに対抗するために源義朝ら武士団を動員して寺院を制圧させた。
2. 平治の乱で敗北した源義朝が、院政の仕組みを批判して鎌倉に幕府を開いたことにより、平安時代の摂関政治が完全に崩壊した。
3. 上皇が摂政や関白の勢力を抑えて政治の実権を握るために、自身の警護や軍事力として武士を重用したことが、武士の政治的地位を高める要因となった。
4. 藤原純友などの武士団が瀬戸内海で反乱を起こしたため、朝廷は武士の影響力を排除するために院政を開始し、天皇親政を復活させた。

1. 遣唐使の派遣を再開し、大陸の進んだ政治制度を積極的に導入した	2. 院政を行う上皇を幽閉し、武士独自の新しい法律を制定して全国を統治した	3. 娘を天皇の妃とし、その間に生まれた子を天皇に即位させて外戚となった	4. 全国の武士と主従関係を結び、土地の所有権を保証する代わりに軍役を課した
-----------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	--

1. 朝廷が自らの軍事力で反乱を鎮圧できず、武士の力を借りたことで武士の台頭を促した。
2. 源氏と平氏が対立するきっかけとなり、武家政権である鎌倉幕府が成立する直接の要因となった。
3. 東北地方の蝦夷を服従させ、朝廷の支配地域を北へ大きく広げる契機となった。
4. 海賊の取り締まりを強化したことで、日宋貿易における海上交通の安全が確保された。

1. 平安京は摂津国に位置し、難波宮（大阪）よりも西に位置する。
2. 平安京は近江国に位置し、琵琶湖の東岸に沿って建設された。
3. 平安京は山城国に位置し、大和国に置かれた平城京よりも北に位置する。
4. 平安京は伊勢国に位置し、伊勢神宮のすぐ西側に建設された。

1. 日明貿易 2. 勘合貿易 3. 日清貿易 4. 日宋貿易

1. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。	2. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの最新技術を取り入れた。	3. 全国に守護と地頭を設置することで、地方の武士や土地に対する支配力を強化した。	4. 独自の法典である御成敗式目を制定し、武士同士の領地争いを裁く基準を明確にした。
--	--	---	--